

1 空間内に、同じ平面上にない4つの点 O, A, B, C がある。 $\triangle OAB, \triangle OAC$ の重心をそれぞれ G, G' とし、線分 OC を $2:3$ に内分する点を P 、線分 AB を $t:(1-t)$ に内分する点を Q とする。ただし、 t は $0 < t < 1$ なる定数である。また、 $\vec{a} = \overrightarrow{OA}$ 、 $\vec{b} = \overrightarrow{OB}$ 、 $\vec{c} = \overrightarrow{OC}$ とおく。以下の ① から ⑩ に答えなさい。

このとき、 $\overrightarrow{OQ} = \text{①} \vec{a} + \text{②} \vec{b} + \text{③} \vec{c}$ 、 $\overrightarrow{OG} = \text{④} \vec{a} + \text{⑤} \vec{b} + \text{⑥} \vec{c}$ である。また線分 GG' と線分 PQ が交わる時 $t = \text{⑦}$ であり、線分 GG' と線分 PQ の交点 R は線分 PQ を ⑧ : ⑨ に内分する。さらに、 $\vec{a} \cdot \vec{c} = \frac{2}{5}$ 、 $\vec{b} \cdot \vec{c} = \frac{4}{15}$ で、線分 PQ と線分 OP が直交するならば、 $|\vec{c}| = \text{⑩}$ である。

なお、この空間の任意のベクトル $\vec{m}$ は、実数 u, v, w を用いて、

$$\vec{m} = u\vec{a} + v\vec{b} + w\vec{c}$$

の形に表すことができ、しかも、表し方はただ1通りである。

2 n を自然数、 c および d を実数として、数列 $\{a_n\}$ を初項 c 、公差 d の等差数列、数列 $\{b_n\}$ を初項 3 、公差 2 の等差数列とすると、以下の設問に答えなさい。

〔1〕 $d \neq 0$ のとき、

$$\sum_{k=1}^n e^{a_k} =$$

①

となる。ただし、 e は自然対数の底とする。

〔2〕 数列 $\{f_n\}$ の第 n 項を $f_n = b_n e^{a_n}$ と定義する。

$d = -0.08$ のとき、 f_n の値が最大になるのは $n =$ ② のときである。



3 関数 $f(x)$ は,

(i) $f\left(\frac{\sqrt{3}}{3}\right) = 2$

(ii) $\int_0^t \sqrt{1 + \{f'(x)\}^2} dx = t^3 + t \quad (t > 0)$

を満たすものとする。

このとき、以下の設問に答えなさい。

[1] この条件を満たす関数 $f(x)$ は

$f(x) =$ ①

または

$f(x) =$ ②

である。

[2] 曲線 $y =$ ① および曲線 $y =$ ② の交点の座標をすべて求め

なさい。

ただし, ①, ② は上問 [1] で求めた関数とする。

[3] 点 (x, y) が上問 [2] の 2 曲線 $y =$ ① および $y =$ ② で囲まれ

た範囲 (境界を含む) を動くとき, $\sqrt{7}x + 3y$ の最小値を求めなさい。

4 行列 $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ ($ad - bc \neq 0$) は, $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} a & c \\ b & d \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} e & 0 \\ 0 & f \end{pmatrix}$ (a, b, c, d, e, f は実数),

および $ad - bc = f$ を満たすものとする。

このとき、以下の設問に答えなさい。

[1] $a - d = 0$ および $b + c = 0$ が成り立つことを示しなさい。

[2] 行列 A が, $A^4 = \begin{pmatrix} -4 & 0 \\ 0 & -4 \end{pmatrix}$ を満たしているとき, このような A をすべて求め

なさい。

